



深い学び



教師の問いかけ

- 教科の特質に迫る課題を設定する
- 考えを深めたり、最適解を選択したりする課題を設定する
- 試行錯誤する場を設定する
- 「問い」が生まれる思考の流れになる授業展開を工夫する
- 学ぶ意欲を引き出す課題の工夫
- ねらいに合った教材配置
- 考えを可視化する

深い学び



思考して
問い続ける

13



思考して問い続ける

- 「なぜ?」「どうして?」
とよく考えて、自分の
考えをもった
- 「本当にこれでいいの
かな」ともっとよい考え
を探した

教師の問いかけ

- 授業のねらいや教科の特性に応じた思考を可視化する
- 既習経験と結び付けるよう声かけをする
- 教科の「見方・考え方」を示し、活用する場面を設定する

深い学び



知識・技能
を習得する

14



知識・技能を 習得する

- 新しく知ったことや、分かったことがあった
- よいやり方を見つけた

教師の問いかけ

- 実際の場面で活用できる課題を設定する
- 学んだ知識・技能を活用したり、新たな疑問を生み出したりする機会をつくる
- 自分に合った方法で学ぶことができる場や問題を設定する

深い学び



知識・技能
を活用する

15



知識・技能を 活用する

- 前に習ったことを使って、考えることができた
- 他の場面や問題でも使って考えたり試したりした

教師の問いかけ

- 自分の考えを自分の言葉で表現する時間をつくる
- 自分事として考えるように助言する
 - ・何のために
 - ・何について
 - ・自分にとって
- 多様な考えを構造化した板書をつくる
- 子供の考えを価値付ける

深い学び



自分の思いや考えと結び付ける

⑩



自分の思いや考えと結び付ける

- 自分の思ったことや考えとつなげることができた
- 「私の考えとここが似ている」
- 自分の言葉で、考えをまとめることができた

教師の問いかけ

- 複数の考えを比較・関連付けする場を設ける
- 他教科等の学びと関連付ける場を設定する
- 繰り返し使って、知識・技能の効果を実感できるようにする
- 自分の学びを自分で認識するように、振り返りの時間を設ける

深い学び



知識や技能を
概念化する

17



知識や技能を 概念化する

- 他の学習でも使えそうな考えや考え方がもてた
- 学んだことが、別の教科や生活に生かされているか、よく考えた

教師の問いかけ

○課題に立ち戻り、解決の方向性を確認する機会をつくる

- ・一人学習
- ・ノートによる記録

○共通体験から、多面的・多角的に考える場を設定する

○子供たちの意見をコーディネートする

深い学び



自分の考え
を形成する

18



自分の考えを 形成する

- 資料を見たり話を聞いたりして情報を集め、自分の考えをもつことができた
- 「こういうことだな」

教師の問いかけ

- 思考を揺さぶり、学びの過程を再考する場を設定する
- 新しい問いや考えを見出したことを認め、広げていく

深い学び



新たなものを
創り上げる



新しいものを創り上げる

- 「これはどういうことだろう」と問いを見つけ、自分なりに考えや解決法をつかった
- 自分なりの新しい考えをつくりあげた